



## 東京農工大学 卓越大学院プログラム※

# 「超スマート社会」を新産業創出とダイバーシティにより 牽引する卓越リーダーの養成

## 令和4年度4月 プログラム学生の募集 (第2次募集)

変更日: 2022年4月19日

※卓越大学院プログラムとは: 正規の大学院に所属しながら、追加で提供される講義や実習などの単位を取得することで、次のような魅力ある経験ができる5年一貫教育のことです。

- ① 海外留学経験や、海外研究機関と連携した国際共同研究
- ② 民間企業と連携した共同研究経験 (博士人材と企業とのマッチングシステムも導入されます)

主な募集対象は、令和4年4月に本学大学院に入学(進学)し、本学博士号取得に強い意志を有する者となります。詳細は4ページの応募資格をご覧ください。



国立大学法人  
東京農工大学

# 卓越大学院とは？

## プログラム概要

東京農工大学卓越大学院プログラム(プログラム名:「超スマート社会」を新産業創出とダイバーシティにより牽引する卓越リーダーの養成)では、令和4年4月または令和3年10月に本学修士課程(博士前期課程、専門職学位課程)に入学する学生ならびに令和4年4月に本学博士課程(博士後期課程を含む)に入学する学生を対象に、卓越大学院プログラムの履修生を募集します。専門分野の限定はなく、東京農工大学のすべての分野・専攻を対象とします。

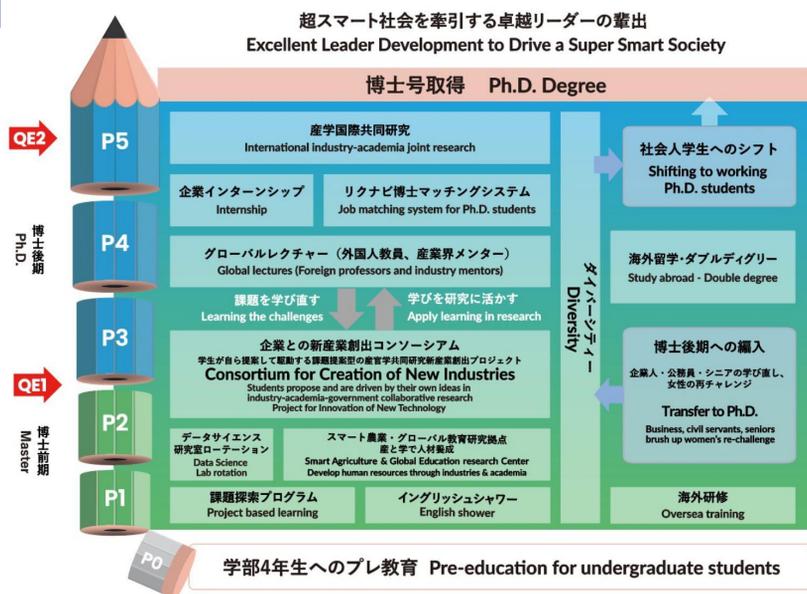
本プログラムでは、“新産業創出”と“ダイバーシティ”を特色とし、農学と工学が協創し、民間企業や海外研究教育機関等と協力して、“先端工学技術によって実現する農業流通革命に資する新産業創出”を主軸テーマとした高度博士人材の養成に取り組んでいます。

具体的には以下のような力を身につけた博士人材を養成します。

1. 農学の社会的課題を工学先端技術で解決する「農工協創による新産業創出」に挑戦する人材
2. イノベーションに必須なダイバーシティ強化に貢献する人材
3. 俯瞰力、独創性、ダイバーシティ理解、国際競争力と高度専門性を備えた卓越リーダー

## カリキュラム

プログラム1~2年次には、グループワークにより課題解決力を身につけ、また、英語力強化と海外経験を目的とする海外連携機関における海外研修も実施します。連携企業の実務家による講義や民間企業・公的研究機関で構成される新産業創出コンソーシアムの下でのプロジェクト型実践的教育も設けており、産学が一体となって人材養成にあたります。



プログラム3年次からは、課題提案型の産学連携共同研究や海外連携機関における国際共同研究など、産業界で役立つ力を身につけるためのまさに実践的な活動にも取り組みます。

プログラムを修了するためには、各専攻の修了要件の他、卓越大学院プログラムが提供する、特色ある科目を選択・履修し、Qualifying Examination(QE)に合格することが条件となります。QEは、原則として博士前期課程(修士課程)2年次の後期(QE1)と、博士後期課程3年次(QE2)に実施します。

# 卓越大学院における人材育成支援の特色

## 海外留学に対する支援

卓越大学院プログラムでは、グローバルな人材の育成に関する様々な支援を提供します。例えば、プログラム履修生は、1~2年次において短期(1週間程度)の海外研修を実施するため、その渡航にかかる経費を支援します。これらのカリキュラム上の支援とともに、中長期(半年~1年程度)の海外留学(研究室ローテーションを含む)の実施など全学的なさまざまな支援スキームを利用したサポートを受けられます。それらの海外留学の準備期間にはイングリッシュシャワーを通じた英語力の強化支援も提供され、コミュニケーション能力のみならず英語論文の執筆技術強化をおこないます。



## 企業経験に対する支援



プログラム履修生は、民間企業や連携研究機関で実際に働いている実務者が提供する講義を受講し、産業界の生の話を聞くことができます。また、3年次以降になると、企業との共同研究テーマを提案するための指導や、実際の研究費獲得に向けた助言・補助など、従来の大学院教育では経験することができない産業界への貢献を強く意識した博士人材育成のための様々なサポートも受けることが可能です。

## プログラム修了後の支援



プログラムを修了した学生が産業界や国際機関などの適切な場所で活躍できるための支援として、博士人材と民間企業をつなぐ博士マッチングシステムの構築・導入を実施し、プログラム履修生と民間企業とのマッチングを支援します。

## 主体的に学ぶための支援

プログラム履修学生は、講義や演習などで何を学習したかを「ポートフォリオ」にまとめ、継続的に自身を評価します。さらに、「課題設定」「解決案構築」「アイデア創出」「俯瞰的思考」「ダイバーシティ理解」「マネジメント」「リーダーシップ」「新産業創出」「実践」の各能力を自己評価し、それを指導教員および連携教員が評価することで、主体的な自己成長を促すための「コンピテンシー評価」を行います。これは、スマートフォン等のネットを活用して確認できるため、本プログラムにおいて経験することが自身の成長にどのようにつながるのかをいつでも確認しながら効率的に学ぶことができます。

## 応募資格

・令和4年4月または令和3年10月に本学大学院修士課程1年次(博士前期課程1年次、専門職学位課程1年次、BASE学府5年一貫制1年次を含む)に入学し、かつ修士号取得後は引き続き本学博士課程又は博士(後期)課程に進学する意思を有し、さらに本プログラムの教育・研究理念に合致する目標を持つ者。

・令和4年4月に本学大学院博士課程1年次(博士後期課程1年次、共同獣医学4年制博士課程1年次、BASE学府5年一貫制3年次を含む)に入学し、本プログラムの教育・研究理念に合致する目標を持つ者。

専攻・研究分野・国籍・性別・社会人など、制限はなく広く募集します。

最終選考に合格し本プログラムの養成対象者となった学生は、所定の科目を受講し、一定の単位数を取得後に、QE2に合格することで、学位記にプログラム修了が併記されます。

※応募にあたっては、主指導教員の承認を得て、研究内容の確認、及び、面接試験を受験する旨などの連絡を必ず行ってください。また、プログラム学生に採用された場合は、各指導教員へ連絡し、今後の研究計画等の打ち合わせを必ず行ってください。

## 応募申請書(募集案内)

卓越大学院プログラムのホームページの「学生募集」のページからも様式をダウンロードできます。

## 選考基準

### 1次選考:書類審査

学部、修士課程又は博士前期課程での成績および申請書の内容等から総合的に評価する。

### 2次選考:面接審査

面接審査では以下の内容に関する10分間のプレゼンテーションおよび7分程度の質疑により、学力・研究能力とともに、本プログラムへの理解と意欲などについて総合的に評価する。

#### ①本プログラムへの志望動機

②修士の場合は、修士課程あるいは博士前期課程、専門職学位課程での研究計画の概要。卒業論文等、これまでの研究からの流れを記述してもよい。

博士の場合は、修士課程あるいは博士前期課程までの研究概要。社会人学生にあっては最近の研究論文の概要でも可。博士課程あるいは博士後期課程以降の研究計画の概要

#### ③本プログラムでの学びを踏まえた今後の研究展望

#### ④本プログラムを修了し、学位を取得した後の将来構想

採用予定人数(第2次募集) M1:10名 D1:5名

## 応募・選考スケジュール

募集期間: 令和4年4月19日(火)～4月27日(水) 17:00迄

第一次選考(書面審査)の合格発表: 令和4年5月9日(月)

第二次選考(面接審査)の実施日: 令和4年5月10日(火)～11日(水)

(オンライン実施。※日時詳細は書面審査合格者へ個別に連絡します。)

第二次選考(面接審査)の合格発表: 令和4年5月12日(木)頃

(選考結果はメールにて連絡します。)

(なお、本プログラムの新入生オリエンテーションは、令和4年5月16日(月)15:00～オンライン(状況によりハイブリッド)で実施予定です。)

